

失われつつある風習と家族の団らん

校長 片山 亮 一

新たな元号「令和」を迎えた2019年が、あと数日で幕を下ろそうとしています。

技術革新が著しく進み利便性が追求され、どちらかというと権利意識が強くなり、人間性の欠如とも思える事件が多発するなかで、新しい時代の到来とそれを歓迎する気運は、私たちに大きな夢とエネルギーを与えてくれました。新元号に用いられた「令」「和」の意味から自らの生き方を見つめ直したり、ラグビー・ワールドカップの日本代表選手たちの闘う姿から自身のチームの在り方を問い直したりするなど、意義のある一年であったように思います。

本校の生徒たちも、様々な場面の「チーム」を大切にしながら、体育大会や学習発表会・合唱コンクール、生徒の手による「人権集会」など、一つ一つの活動を魅力的で実りのあるものにしてくれました。また、12月15日(日)に滋賀県で開催された第27回全国中学校駅伝大会では、本校の男子駅伝チームがまさに『ONE TEAM』となって、見事な走りを見せてくれました。

ひとえに、日ごろ、温かなご理解とご支援をいただいている地域並びに保護者の皆様のお陰と心から感謝申し上げます。

さて、話は変わりますが、巷では年越しの準備が始まっています。ホームセンターやドラッグストアの店先には、既に11月下旬から「お鏡餅」が並べられていますが、今や「お餅」は簡単に購入できるようになりました。

私が小学生の頃は、臼と杵による餅つきが本家で行われ、早朝4時に母に揺すり起こされた私は、ねむい目をこすりながらその餅つきに向かったものです。せいろで餅米を蒸す白い湯気の向こうに見える大人たちの頼もしい立ち回り、辺りに立ち込める心地よい匂い、餅を杵でつく側とそれを手で返す側の絶妙なコンビネーション、できたての餅をほおぼるうれしさなど、家族や親戚の一体感と安心感に包まれる心地よい時間でした。「家庭用餅つき器」の登場でこの心地よい風習が我が家からはなくなり、今では近くの「お餅屋さん」に依頼しています。聞くところによると、高齢化により「お餅屋さん」すら減ってきているそうです。

近隣への騒音問題から、「除夜の鐘」を取り止めようとするお寺さんもあるようですが、少しでもこの時期の日本の風習や家庭の団らんが減らないでほしいと願うばかりです。



始業式 皆の顔見て ほっとする

3年生 未来に向かって つきすすめ！

先日、本校の生徒会本部が『雄中生川柳』を全校から募集し、その作品を1週間にわたって校内放送で読み上げてくれました。やはり、明るい話題からはたくさんのエネルギーをもらえます。

それぞれの家庭や地域が明るい対話にあふれ、新たな年の始まりを迎えられることを切に願っております。一年間、本当にありがとうございました。

1月～2月の主な予定

12月24日(火)	冬季休業(～1月6日)	2月6日(木)	私立高校一般入試
1月7日(火)	3学期始業式 書き初め大会	2月7日(金)	入学説明会
1月13日(月)	成人の日	2月11日(火)	建国記念の日
	新川地区アンサンブルコンテスト		県小中高校生書初大会
1月14日(火)	県スキー選手権(～16日)	2月17日(月)	3年学年末考査(～19日)
1月15日(水)	学校納金口座振替日		学校納金口座振替日
1月23日(木)	3年進路懇談会(～24日)	2月23日(日)	天皇誕生日
2月3日(月)	全中スキー大会(～7日)	2月24日(月)	振替休日
		2月25日(火)	1、2年学年末考査(～27日)

生徒の手による「人権集会」～ 自他の大切さを認め合う ～

本校では、12月2日から6日までの5日間を『人権週間』として、朝学習の時間に「人権に関する作文」の朗読を聴き、感じたり考えたりしたことを伝え合いました。その締めくくりとして、最終日には生徒の手による「人権集会」を開きました。

2年生がLINE等のSNSによる「いじめ」の寸劇で話題を提供し、その後のパネルディスカッションや意見交換、「人権クイズ」、DVDの視聴を通して、人権の大切さを全校で見つめました。

<生徒作文より>

- この1週間、私は人権についてより深く考えました。人権とは、人が幸せになるための権利であり、誰も侵してはいけない大切なものです。特に「いじめ」という行為は、その大切な人権を奪うとてもひどいことだと思います。「いじめ」は相手のことを考えず自分勝手な考えによって起こるものです。そのような考えによって、傷つく人が出たり悲しい思いをする人がいたりするのはとても残念なことです。最近はSNSによるトラブルが増え、それによる人権侵害も増加しています。使用する際のマナーを再確認することや、すべての人々が相手のことを思いやることで、誰もが心地よく過ごせる社会になると思います。
- いじめられてる人がいたらその人と仲よくし、心の支えになりたいです。
- お互いを尊重しないところから「いじめ」が起こるのだと思いました。



『いじめ』を題材にした寸劇



パネルディスカッションの一場面

学校保健委員会 ～ こころの健康を考える ～

12月9日、『中学生のこころの健康～コミュニケーションと生活習慣の視点から～』をテーマに学校保健委員会を開催しました。生徒会保健体育委員会による『とやまゲンキキッズ作戦』の取り組みについての発表では、生活習慣が心に与える影響について考察しました。その後、富山県子どもこころの相談室代表で臨床心理士の深澤大地先生から、中学生のこころの健康についての講話をお聴きしました。講話後も日常生活や心理学についての生徒からの質問に分かりやすく答えていただき、生徒一人一人の認識がより深まりました。



保健体育委員会による発表

<生徒作文より>

- 睡眠時間は8時間30分が最もよいということが心に残っています。私は最近、睡眠時間がめっきり減りました。それに伴って授業中に眠くなってしまふことが多く「睡眠の質」もあまりよくないためか、朝がだるいと感じられることが多くありました。現在は少し早めに就寝し、朝早く起きて勉強する時間を設けています。そのお陰で、最近ではだるく感じるものが少なくなりました。
- 私は「自分には勉強の才能がないのかも。」とネガティブになりがちだったけれど、今日の講話を聴いて「これからはもっと伸びる」と思ってポジティブ思考に切り替えていきます。
- 規則正しい生活習慣にすれば勉強もはかどるし、心も明るくなることが分かりました。



深澤先生の講話『こころの健康』

『One Team』～ 駅伝部が第27回全国中学校駅伝大会に出場 ～

12月12日に全国中学校駅伝大会に出場する駅伝部の壮行会を行い、9名の選手それぞれが全校生徒を前にその決意を力強く述べました。その後、有志で結成された応援団が中心となり、全校で熱いエールを贈りました。また、本校同窓会の大江利男会長さんをお招きし、激励の言葉もいただきました。

15日の大会開催当日の滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生ランドは天候に恵まれ、穏やかで走りやすい環境の中、出場選手6名がまさに「One Team」となり、全力の走りで「たすき」をつないでくれました。全国26位の結果を残すことができたのも、多くの皆様に遠方まで応援にかけつけてくださったお陰です。地域、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



全国大会に出発する選手たち